NEXTEC

４チャンネル・デジタルビデオレコーダー 保証書付

NX-D500R

取扱説明書

このたびはFRC製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●ご使用の前に取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●特に安全についてのお願いとご注意(P１～2)は必ずお読みください。
●お読みににになった後は、大切に保管していただき、その都度ご参照ください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店から
お受け取りください。

目次

1. 安全についてのお願いとご注意・・・

⚠ 注意

■本機を設置される場所には、揮発性ガスを生成する腐食性化学薬品やシリコンを含むものをそばに置かない。
腐食や故障の原因になります。

■衝撃や振動を加えない
内部の部品が壊れ故障の原因になります。

■使用温度／湿度範囲下でご使用する
本機の温度／湿度保証範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤作動の原因となります。また、ハードディスク（以下、HDD）は特性上、温度が高くなると特性劣化し寿命に影響を与えます。+10 ℃～+30 ℃以内で使用されることをおすすめします。

■高温時の取り扱いに注意する
本機の温度が高くなっていることがありますので触れる際には、十分にご注意ください。

■本機の設置場所の風通しの良い場所を選び、壁や物から 15cm 以上離し通風孔をふさがない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。

■本機の設置場所は清潔で整頓された環境を維持する。

■お手入れの際、電源プラグを抜く
電源プラグを差し込んだまま、お手入れをすると、感電の原因となることがあります。

■アースを確実にとる
ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。
アース端子付きコンセントを使用される場合は、D 種接地抵抗値を満たしているかご確認ください。

取り扱い上のお願い

警告　注意に記載されている内容とともに、以下の事項をお守りください。

■使用電源について
本機は AC100 V 50/60 Hz 専用です。本機の電源は壁のコンセントから直接取り、消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

■付属の電源コードについて
付属の電源コードは AC100V(日本国内用）です。他の製品ではご使用になれません。また付属の電源コード以外は本製品にはご使用にならないでください。発熱により火災・感電の原因となる事があります。

■AC アダプターについて
AC アダプターは、同梱のものをお使いください。AC アダプターの上に物を置くことはしないでください。

■瞬時電圧低下について
本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合を生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

■HDD について
- HDD は精密機器です。振動／衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをしてください。HDD 故障の原因になります。
- HDD に記録された情報内容は、万一、消失しても故障や障害の原因にかかわらず、弊社は補償いたしかねます。
- 電源を入れたときや電源を切った直後は HDD が動作中です。移動や設置作業は絶対にしないでください。
- HDD の寿命は使用環境により異なりますが、消耗劣化する部品です。+25 ℃の環境下で使用した場合、通電時間が 20,000 時間を超えると書き込みエラーが発生しやすくなるため、交換をお勧めします。この時間は一般的な時間であり寿命を保証する値ではありません。
- HDD に異常が発生した場合は、速やかに交換してください。交換は有料です。

■結露について
結露が発生すると故障の原因となりますのでご注意ください。

■使用するモニターについて
モニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。

■次のような場所での設置および使用はできません
- 直射日光の当たる場所
- スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- 結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- 厨房など蒸気や油分の多い場所
- 煙草の煙がかかる場所
- 低分子シロキサン等シリコンの影響を受ける場所
- 腐食性・揮発性ガスの影響を受ける場所

免責について
- この商品は、別売りのカメラと組み合わせ、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を記録することを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

1. 本商品に関連して直接または間接に発生した損害・被害、または結果的損害・被害
2. お客様の誤使用や不注意による本製品の障害または破損など
3. お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
4. 弊社以外のカメラなどと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
5. お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
6. 記録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

個人情報の保護について
本機を使用したシステムで撮影された映像で個人が特定できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

機器を譲渡・廃棄される場合
本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は、「個人情報」に該当する場合があります。本機が廃棄、譲渡、修理などで第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

2. 主な特長・製品の構成

商品概要

- 本機は最大 4 台の監視カメラの映像を HDD に記録することができるデジタルビデオレコーダーです
- 本機はコンポジットビデオ入力のあるテレビの他、VGA 入力に対応しているモニターにも接続することができます。
- 複数のカメラの映像をモニターに表示したり、カメラ映像を切り換えることができます。
- 録画は常に録画させるモードの他に、タイマーによる録画や動体検知（MD）により録画を開始させることも可能です。
- 操作にはマウスによる直感的な操作が可能です。

製品の構成

お買い上げいただいた製品は次の製品から構成されております。
内容をご確認ください。

◎本体	1 個
◎BNC-RCA 変換コネクタ	5 個
◎赤外線リモコン	1 個
◎マウス	1 個
◎リモコン用乾電池	2 個
◎DC12V3A 電源アダプター	1 個
◎取扱説明書（本書）	1 冊
◎CD（Windows 用再生アプリケーション）	1 枚

※付属のCDには、本機で録画したファイルを再生するためのソフトウェアが収録されています。本ソフトウェアのサポートは一切行っておりません。

本ソフトウェアはWindowsXP SP2以降/Windows Vista/Windows7に対応しています。

CD内の[Player]フォルダー "PlaybackSetup(.exe)" をクリックしインストールしてからご使用ください。

スタート--すべてのプログラムから "Playback Software"ホルダーを探し"Playback Software"をクリックしてください。

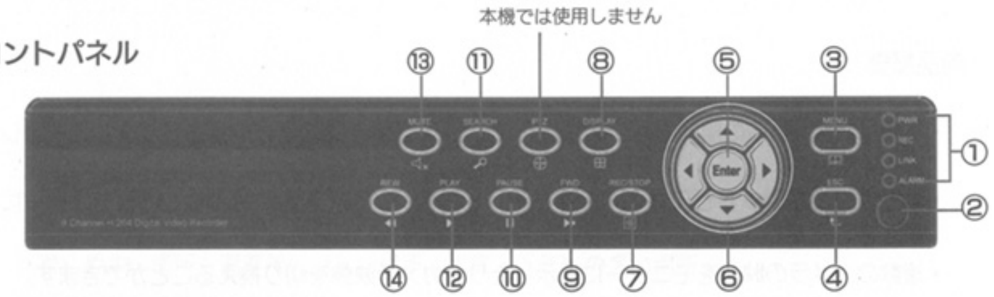
本ソフトウェアで録画ファイルを再生するには、録画データをコピーしたUSBメモリーを本体に差し、FileのOpen Local FileからUSBディスク内の"RecordFile"フォルダを選択し、ファイルの種類を"264 Files(*.264)に設定し目的のファイルを開きます。次にPlayメニューからPlayを選択すると再生が始まります。

上記Open Local FileではなくOpen Local Dirで "RecordFile"にコピーされたファイルを再生することも可能です。

本ソフトを終了するには右上の×をクリックしてください。

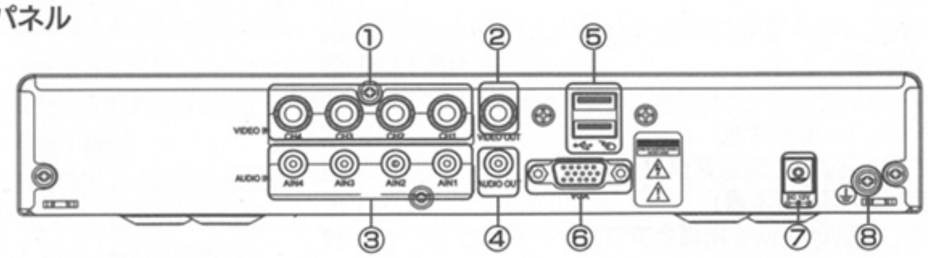
3. 各部の名称とはたらき

フロントパネル



No.	名称と機能	No.	名称と機能	No.	名称と機能
1	電源ランプ、録画ランプ、アラームランプ	7	録画・停止	9	早送り
2	リモコン赤外線受信部			10	一時停止
3	メインメニュー			11	録画検索
4	終了 戻る	8	ディスプレイモード	12	再生
5	確定			13	MUTE
6	カーソルキー			14	巻き戻し

リアパネル



No.	名称	機能の説明
1	ビデオ入力	コンポジットビデオ（カメラ）入力（BNC コネクタ）
2	ビデオ出力	コンポジットビデオ出力（BNC コネクタ）
3	オーディオ入力	モノラル・LINE 入力
4	オーディオ出力	モノラル・LINE 出力
5	USBポート	上段：データバックアップ用 USB2.0 ポート 下段：マウス用 USB1.1 ポート
6	VGAポート	VGA 入力を持つモニターに接続します。
7	電源入力	DC12V 3A　入力端子・付属の AC アダプタを接続します。
8	アース	アース端子

リモコン

キー	操作の説明
	使用しません
	ミュート
0〜9	チャンネル選択、番号キー
	4分割画面
	ポップアップメニューの終了
	ポップアップメニュー
▲▼◀▶	カーソルキー
	OK
ESC	終了／戻り
MENU	メインメニューに入る
STARTREC	録画の開始　※
STOPREC	録画の停止　※
	ビデオ検索
	一時停止
	早巻き戻し
	早送り
	コマ送り

※録画設定メニュー（詳細は 11 ページ）の録画開始方法がタイマー・MD 設定録画／モーション検知録画に設定されている時に有効です。

4. 使用方法

基本的な操作の仕方

前面パネルによる操作
操作したい機能が割り当てられているボタンを押して操作します。
各ボタンに割り当てられている機能については、「各部の名前とはたらき」（☞6 ページ）をお読みください。

マウスによる操作
本機リアパネルの USB1.1 ポートにマウスを接続して操作します。
マウスを動かすとモニターの画面上にマウスカーソルが表示されます。

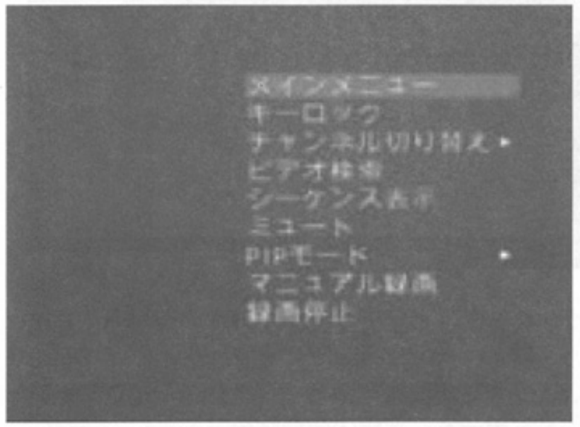
モニター画面上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。
ポップアップメニューが表示された状態を 20 秒間放置すると非表示状態に戻ります。
ポップアップメニューの各項目を選択するには、選択したいメニューに合わせ左クリックします。
各機能の詳しい説明は後のページをご覧ください。

また、モニターの画面に表示されるマウスカーソルを移動させ、４分割カメラ画面上でダブルクリックさせると、そのカメラ画像が１画面表示されます。
もう一度ダブルクリックすると分割表示に切り替わります

ポップアップメニュー

ライブビュー表示中に右クリックするとポップアップメニューが表示されます。

ポップアップメニューには次の項目があります。



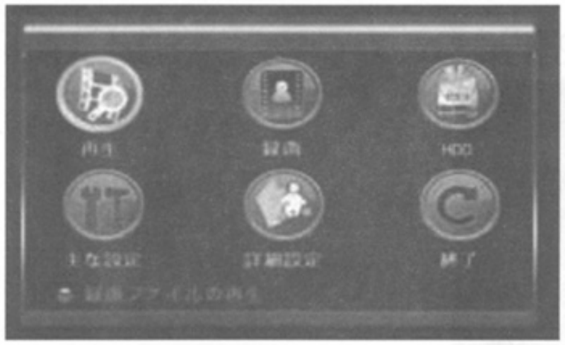
メインメニュー → メインメニューを呼び出します。
キーロック → パスワードを知らない人の使用を制限します。
チャンネル切り替え → 画面に表示するチャンネルを切り替えます。
- 全チャンネル　４チャンネル分割で表示します
- チャンネル１　チャンネル１を表示します
- チャンネル２　チャンネル２を表示します
- チャンネル３　チャンネル３を表示します
- チャンネル４　チャンネル４を表示します

ビデオ検索 → 再生メニューを呼び出します。
シーケンス表示 → メインメニュー -- 表示設定 -- シーケンス表示設定で設定した順で画面表示を開始します。
ミュート（ミュートオフ） → モニター装置から出ている音を消音状態／消音状態解除を切り替えします。
PIP モード → Picture in Picture（親画面と子画面）状態で表示します。
- 1×1
- 1×2

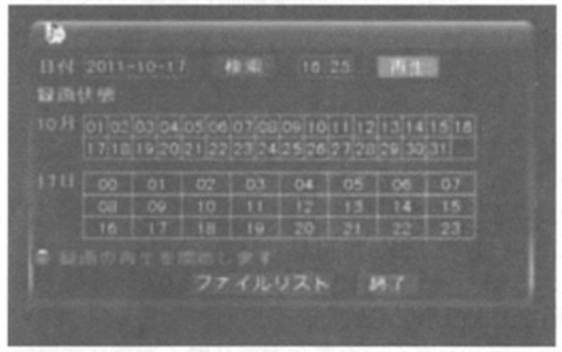
以下の２つのメニューはメインメニュー - 録画 設定で録画開始設定が、
" 起動後自動録画 " になっていない場合に表示されます。
マニュアル録画
録画停止

メインメニュー

メインメニューには次の項目があります。

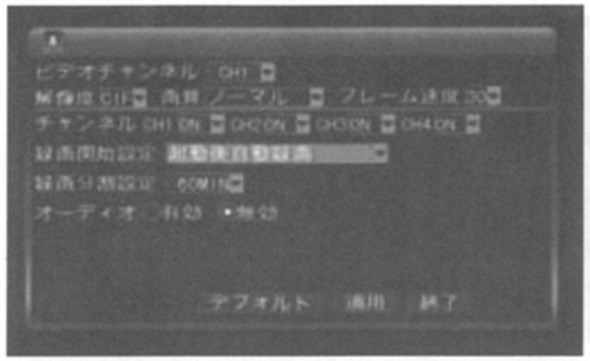


1. 再生
再生メニューを表示します。



検索したい日時を入力し、検索を押すと録画状態が表示されます。
入力した月の前後が画面中央の月の欄に表示され、日にちをクリックするとその下の時刻表示の欄に録画された状態とともに表示されます。
赤がモーション検知で録画されたファイルで緑が通常録で記録されたファイルです。色の無い部分は録画されていないことを表します。予め検索したい日付と時刻が判明している場合には、日付と時刻を入力し再生ボタンを押すとその時間から再生を始めます。

2. 録画
録画設定メニューを表示します。



画面上の横線よりも上で各チャンネルの解像度や、画質、フレームレートを選択します。

横線よりも下の欄にて、録画するチャンネルとしないチャンネルの設定、録画開始方法の設定、ファイル分割時間の設定、オーディオの有効／無効を設定します。

録画開始方法には、**タイマー・MD 設定録画 / 起動後自動録画 / モーション検知録画**が選択できます。

「タイマー・MD 設定録画」はスケジュールを設定することで時間・曜日によって動体検知録画・定時録画・録画なしを設定することが可能です。
お店などで昼間は人がいるが、夜間のみ警戒したい場合などに最適です。

「起動後自動録画」は本機が稼動状態になると録画を開始します。

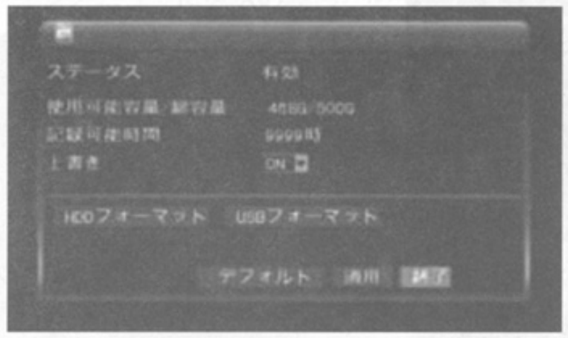
「モーション検知録画」はすべての時刻で動体検知録画を行います。「タイマー・MD 設定録画」ですべての時間・曜日を MD 検知に設定した時と同じ状態です。モーション検知のチャンネルや範囲はメインメニュー -- 詳細設定 -- MD で設定してください。
(17 ページ)

録画分割設定はファイル 1 つ当たりの時間を 15 分・30 分・45 分・60 分の中から選択します。

オーディオ有効／無効は音声録画をする／しないを設定します。
設定は全チャンネルに有効です。

3.HDD

HDD の状態と管理メニューを表示します。



ステータス：HDD が正常に動作している場合には「有効」と表示されます。
使用可能容量／総容量：現在の使用可能容量と総容量が表示されます。
記録可能時間：現在の設定に基づく記録可能時間を表示します。
上書き：ハードディスクがいっぱいになった時の動作を設定します。
ON に設定すると、ハードディスクがいっぱいになった時に一番古いファイルを消去して録画を続けます。
OFF に設定すると、ハードディスクがいっぱいになった時点で録画を停止します。

HDD フォーマット：HDD のフォーマットが必要な場合に選択します。上記、上書きを OFF に設定し新たに録画を始めたい時などに使用します。
USB フォーマット：USB ディスクをフォーマットしたい場合に選択します。

4. 主な設定

基本セットアップ画面を表示します。
詳細は 13 ページの主な設定をご覧ください。

5. 詳細設定

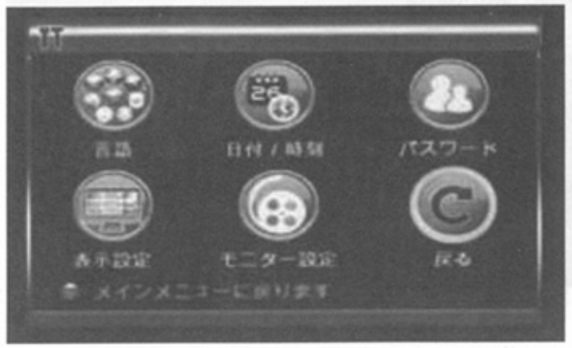
詳細セットアップ画面を表示します。
詳細は 16 ページの詳細設定をご覧ください。

6. 終了

ライブビューに戻ります。

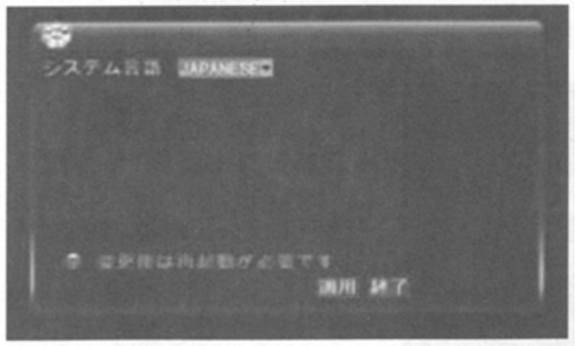
主な設定

主な設定には次の設定項目があります。



1. 言語

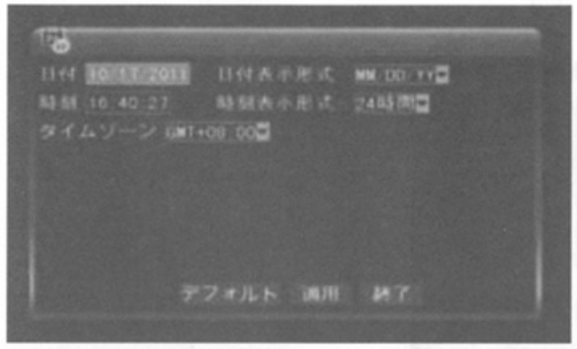
本機で表示される言語を選択します。



JAPANESE ／ ENGLISH から選択します。
設定後は再起動が必要です。

2. 日付 / 時刻

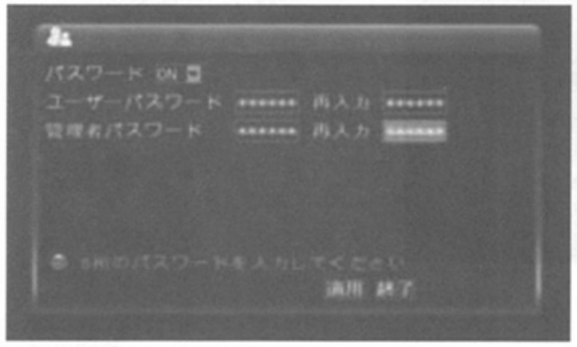
日時に関する設定を行います。



日付・時刻、日付表示形式、時刻表示形式、タイムゾーンの設定を行います。
タイムゾーンは日本の場合 GMT+09:00 を設定します。

3. パスワード

本機を操作するためのパスワードを設定します。

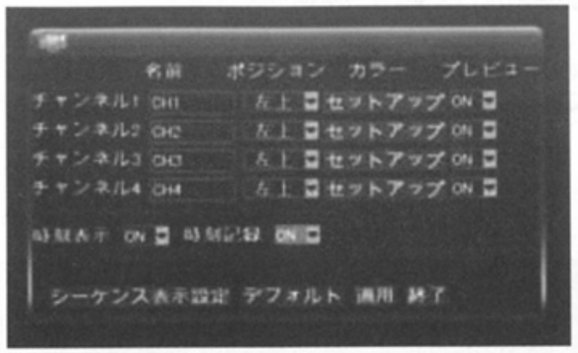


パスワード：パスワードを使用する／しないを ON/OFF で設定します。
ユーザーパスワード：一般ユーザーのパスワードを６桁で設定します。
管理者パスワード：管理者用パスワードを６桁で設定します。

一般ユーザーは、キーロック、チャンネルの切り替え、ビデオ検索、ログ検索、バックアップ、消音（ミュート）、マニュアル録画及び録画停止機能のみが使用できます。

4. 表示設定

カメラの名称やカメラ名称の表示位置・カメラの露出／カラーバランス、各カメラモニターの設定を行います。

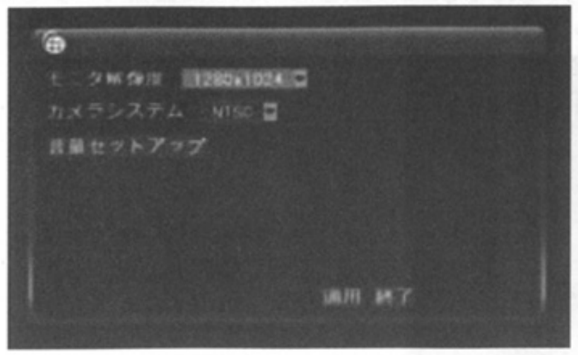


名前：アルファベットと数字（8 文字以内）で入力します。
ポジション：上記で設定したチャンネル名称を画面上のどの位置に表示するかを設定します。
カラー：色合い・明るさ・コントラスト・彩度を各チャンネルごとに設定します。
プレビュー：ON/OFF にてそのチャンネルをモニター画面に表示するかしないかを設定します。
時刻表示：画面上に日時を表示する／しないを ON/OFF にて設定します。

時刻記録：録画データに日時データを記録する／しないを ON/OFF で設定します。

5. モニター設定

モニター装置の設定を行います。



モニター解像度：VGA 出力に接続したモニタへ出力する解像度を設定します。
カメラシステム：使用するカメラのタイプによって設定します。通常日本国内では
NTSC を使用します。
音量セットアップ：モニターへの音量を設定します。

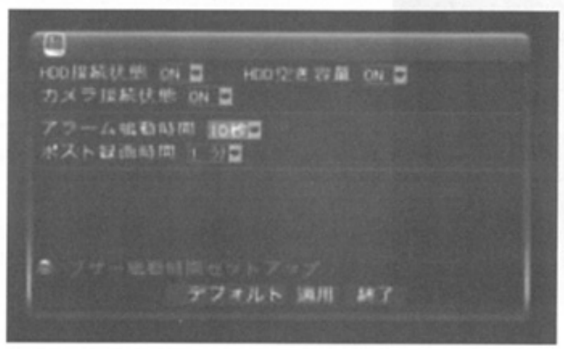
４チャンネル表示の際にはチャンネル１を、それぞれのチャンネルが大きく表示されているときはそのチャンネルの音声がモニター出来ます。

6. 終了
ライブビュー画面に戻ります。

詳細設定

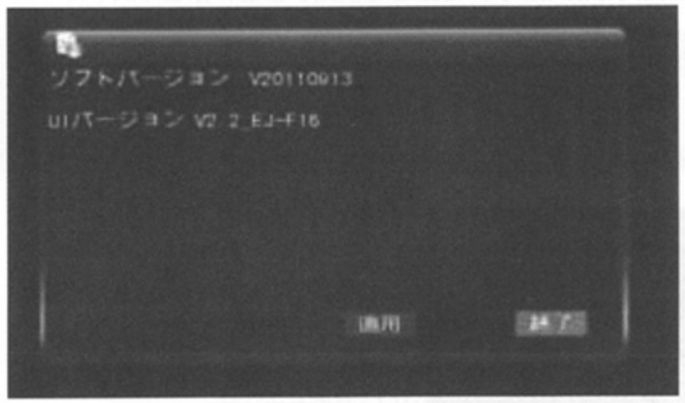
詳細設定には次の設定項目があります。

1. アラーム
本機のアラーム機能の設定を行います。アラームとは画面上に警告マークを出す・ブザーを鳴らすことを言います。



HDD 接続状態：HDD が認識できない場合にアラームを出します。
HDD 空き容量：HDD の容量が少なくなった場合に画面上に "H" マークを表示します。
カメラ接続状態：カメラが切り離されたときにブザーを鳴らします。但しアラーム鳴動時間を 0 秒に設定した時は鳴りません。
アラーム鳴動時間：ブザーが鳴る時間を設定します。0 秒に設定するとブザーを鳴らさず、画面上に警告アイコンを表示するのみになります。
ポスト録画時間：動体を検知した後の録画時間（ポスト録画時間）を選択します。

2. 情報
本機の情報を表示します。



3.MD（モーションディテクト：動体検知）
動体検知エリアの設定を行います。

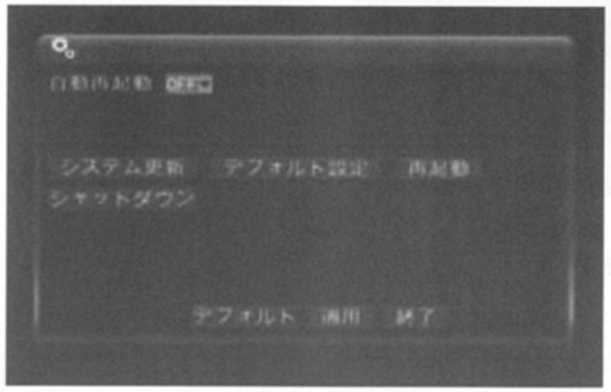
状態：動体検知を行うかどうかを ON/OFF で設定します。
感度：感度設定を行います。４が最高感度、１が最低感度になります。
MD エリア：各チャンネルごと動体検知エリアの設定を行います。
赤色のエリアが動体検知エリアになります。

〈モーション検知セットアップ手順〉

リモコン操作:" 田 " キー（画面一面一括モーション検知エリア設定 ON ／ OFF）もしくは、カーソルキーと "OK, 決定 " キーを使用してモーション検知エリアを設定します。
マウス操作：マウスを左クリックし、モーション検知エリアボックスをドラッグ／クリックして検知のエリアを設定します。

A.「チャンネルスイッチ」オプションで対応するチャンネルを「オン」にします。
B. 必要に応じ、感度レベルを設定します。通常は３または４に設定されます。
C.「エリアセットアップ」オプションで対応するチャンネルのモーションエリアを設定します。
D.「録画」画面で、対応するチャンネルを「チャンネル」オプションの「オン」に設定します。
E.「録画」画面で、「録画開始設定」を「タイマー・MD 設定録画」または「モーション検知録画」に設定し、「タイマー・MD 設定録画」に選択した場合は「スケジュール」をクリックしてモーション検知にて録画をしたい時間を MD 検知 に設定します。（セットアップ方法については、「録画」の「タイマー・MD 設定録画」を参照してください）。
セットアップが完了し、画面内の検知エリアで動きを検知すると、赤色の文字で「M」が設定したチャンネルの画面に表示されます。

4. 保守
本機の保守に関する設定を実行します。



自動再起動：本機を設定した時間で再起動する／しないを ON ／ OFF で設定します。するに設定した場合は、毎日・毎週・毎月の設定した時刻に再起動を行います。

システム更新：新しいファームウェアが提供された場合、USB メモリ経由でアップデートするときに使用します。
デフォルト設定：すべてのパラメータを工場出荷時設定に戻します。
再起動：本機をリスタートします。
シャットダウン：本機の電源を切るときに選択します。メインメニュー - パスワードでパスワードを ON に設定しているときは管理者パスワードが必要です。

5. 終了
メインメニューに戻ります。

連続撮影可能日数
カメラ4台使用時の連続撮影日数の参考値です。

	ファイン	ノーマル	エコノミー
最高（D1）	約5日間	約6日間	約7日間
高（ハーフD1）	約9日間	約11日間	約13日間
ノーマル（CIF）	約18日間	約21日間	約26日間

4ch記録にてフレームレートを25FPSに設定した場合

5. 故障とお考えになる前に

電源が入らない →電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているか確認してください。
ACプラグへ接続されているコードが確実に差し込まれているか確認してください。

本体が熱い →使用中はほんのりと温かくなります。熱いと感じる場合には、本体の通風孔が布や物でふさがれていないか?ほこりなどで汚れていないか? をご確認ください。
また本体を風通しの良いところへ設置してください。

映像が出ない →接続ケーブルが正しく、しっかりと差し込まれているか確認してください。

映像がぼやける →カメラのレンズにゴミやほこり、指紋が付着していないか確認してください。

映像が乱れる →カメラと本機のカメラシステム設定があっているか確認してください。
通常日本ではNTSC方式を使用しています。

録画できない →録画動作の設定は正しくされているか確認してください。
スケジュールは正しく設定されていますか?
録画メニューのチャンネルが録画機能を有効にするよう設定されているか確認してください。

使えない機能がある→ユーザーパスワードでログインしていませんか?
管理者パスワードでログインしてください。

6. 製品仕様

		4 チャンネル
ビデオ規格		PAL / NTSCスケーラブル
ビデオ圧縮フォーマット		メインプロファイル　H.264
ビデオ入出力		BNC 4チャンネル入力／ 1チャンネル出力
VGA出力		対応（オプション）
オーディオ圧縮方式		8kHz × 16 ビット　ADPCM
オーディオ入出力		RCA 1チャンネル入力、 1チャンネル出力
アラームタイプ		カメラ未接続、ハードディスク残量警告、ハードディスクエラー
ディスプレイ		1/4 チャンネル切り替え可
ディスプレイ解像度		PAL: D1 (704 × 576) NTSC: D1 (704 × 480)
ディスプレイフレームレート		シングルチャンネル　PAL: 25fps, NTSC: 30fps
再生解像度	PAL	CIF(352 ×288) HD1(704 ×288)　D1(704×576)
	NTSC	CIF(352 ×240) HD1(704 ×240)　D1(704×480)
録画モード		タイマー・MD設定録画／パワーアップ後自動録画／モーション検知録画
録画分割時間		15/30/45/60 分
再生モード		ノーマル再生、早送り再生、早巻き戻し再生、コマ送り再生
バックアップ機能		USBディスクバックアップ、可搬ハードディスクバックアップ
電源アダプタ		DC12V/3A
消費電力		40W（最大）
使用温度		0℃～+40℃
使用湿度		10%～90%(結露なきこと)
寸法（mm）		275 × 215 × 45mm (長さ × 幅 × 高さ)

保　証　規　定

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され合格したものですが、万一ご購入後一年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。なお、次に記載した場合の故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

① 使用上の誤り、不当な改造や修理などによる故障および損傷。
② ご購入後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
③ 火災、地震、水害、異常電圧、指定外の電源、電圧、周波数使用およびその他の天変地異などによる故障および損傷。
④ 本保証書のご提示がない場合。
⑤ 本保証書の所定事項が未記入、あるいは字句が書き換えられた場合。
※ 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

■保証、アフターサービスについて

●保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
保証書(本書に刷り込まれています)は、必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●修理を依頼されるときはまず、配線の状態および操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常がある時は修理依頼してください。

■保証期間中は：
保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは：
お買い求めの販売店にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理メモ

品 質 保 証 書

本製品は、当社において厳重な品質管理のもとに検査され、それに合格したものです。万一、ご購入後一年以内に製造上の不備に起因する故障が生じた場合には、当社が責任をもって無償修理いたします。修理の際には、本製品をご購入いただいた販売店に、必ず本保証書をご持参の上ご依頼ください。本保証書のご提示のない場合には全額有償となりますので、本保証書は大切に保存してください。

商 品 名	デジタルビデオレコーダー　NX-D500R		
保証期間	1年	購入年月日	年　月　日
お 客 様	ご住所 TEL. お名前		
販 売 店	住所 店名 印		

見本

本保証書は再発行しませんので大切に保管してください。

F.R.C. CO.,LTD.
株式会社エフ・アール・シー
〒194-0035 東京都町田市忠生4-11-8 TEL 042-793-7746